



同 志 社 大 学

DOSHISHA UNIVERSITY

OFFICE OF THE PRESIDENT

---

May 31, 2018

His Excellency Antonio Guterres  
Secretary General  
United Nations  
New York, NY 10017  
USA

Dear Mr. Secretary-General,

I am pleased to confirm that Doshisha University supports the ten principles of the UN Global Compact with respect to human rights, labour, environment, and anti-corruption. With this commitment, we express our intent to advance these principles within our sphere of influence, and will make a clear statement of this commitment to our stakeholders and the general public.

We also pledge to take part in the activities of the UN Global Compact where appropriate and feasible - through, for instance, participation in Country/Local Networks; involvement in specialized initiatives and workstreams; engagement in partnership projects; and reviewing and providing commentary to participating companies on their Communications on Progress.

Sincerely yours,

Matsuoka Takashi  
President  
Doshisha University

## グローバル・コンパクト加盟趣旨説明書

同志社大学は人権、労働基準、環境、腐敗防止に関するグローバル・コンパクトの 10 の原則を支持することを確認いたします。

私どもは、本学の影響力の及ぶ範囲内でできる限りグローバル・コンパクトの 10 原則を促進していく所存でございます。本学はグローバル・コンパクトおよびその 10 原則を本学の戦略、文化および日々の業務の一部にしていくことと、国連が目指しているミレニアム開発目標などへの取り組みにも関わっていくことをお約束いたします。また、このような私どものグローバル・コンパクトに対するコミットメントをステークホルダーおよび公に対して明言いたします。

グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク加盟に際し、会員として得られた他社・団体に関する情報を第三者に漏洩しないことをお約束します。

2018年5月31日

同志社大学

学長 松岡 敬





日本グローバルコンパクトアカデミックネットワークセミナー

# SDGsを教室へ：大学と企業を結ぶ・・・ 日本でも！アジアでも！

**参加費無料**

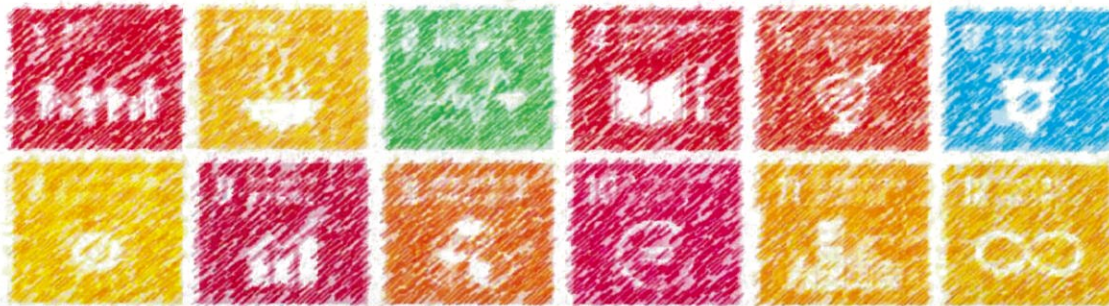
■日時 2017年3月28日(火) 13:00～18:00

■会場 同志社大学東京キャンパス

(東京都中央区京橋2丁目7番19号京橋イーストビル3階)

■共催 グローバルコンパクトネットワークジャパン

**リーディング企業と語ろう！！**



## 第1部：講演

### 1)SDGsとPRME 2)ASEANミレニアル世代

13:00～14:30

講師



1) Dr. Hui Pun-zee Pamsy  
(香港理工大学 教授)  
三浦 聡  
(名古屋大学 教授)

2) 宮部 裕介  
博報堂生活総合研究所アセアン  
主任研究員

## 第2部：パネルディスカッション

### 教室にSDGs、 お茶の間にSDGs

14:40～17:55

パネラー

石田 一郎	(朝日新聞社)
川廷 昌弘	(博報堂)
河口 真理子	(大和総研)
大原 徹也	(ギャップ米国本社)
阿部 和彦	(PwCサステナビリティ合同会社)
福田 加奈子	(住友化学)
岡崎 有香	(JICA)
宮城 崇志	(SDGs. TV)
渡辺 李依	(JANIC)
中川 尚志	(科学技術振興機構)
飯塚 まり	(同志社大学)

(敬称略・順不同)

お問い合わせ・お申込み

日本グローバルコンパクトアカデミックネットワーク

(メールアドレス) [rc-being@mail.doshisha.ac.jp](mailto:rc-being@mail.doshisha.ac.jp)

(Googleフォーム) <https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScTityRkUPFInlhH-BCrPlo5YVf5zY-hqcvnJeNhZfHvGvQA/viewform>

## 日本グローバルコンパクト・アカデミックネットワーク(J-GCAN)

## セミナー

## 「SDGs を教室へ: 大学と企業を結ぶ・日本でも! アジアでも!」

開催日時: 3 月 28 日(火) 13:00-18:00

会場: 同志社大学東京オフィス

<http://tokyo-office.doshisha.ac.jp/access/map.html>

➤ 参加: 無料 (定員 50 名)

➤ 参加申込: 下記の Google フォームよりお申込み下さい。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScTityRkUPFINnlhH-BCrPlO5YVf5zY-hqcvnJeNhZfHhGvQAg/viewform>(または、[rc-being@mail.doshisha.ac.jp](mailto:rc-being@mail.doshisha.ac.jp) へ参加希望の旨、ご連絡ください。)

2016 年にスタートを切った国連 SDGs(持続可能な開発目標)。その中心は、若者と企業だといわれています。国連グローバルコンパクトは、SDGs の推進を担う企業の集まりとも言えますが、その一部である PRME - Principle for Responsible Management - (主にビジネススクールや経営を扱う教育機関の集まり)でも、いかに SDGs を教室に届けるのか、が大きなテーマになっています。日本でも、世界でも、まだその試みは、始まったばかり。情報の共有もこれからです。

翻って、2017 年 8 月には、グローバルコンパクトの国ごとの組織であるローカルネットワークの中で、日本、中国、韓国の 3 国が、日・中・韓ラウンドテーブルを東京で開催することになっています。その際には、各国のユース(大学生、大学院生)も集まり、SDGs について語る機会がおとずれます。また、日・中・韓ラウンドテーブルの直後に、アジア地域グローバルコンパクトの会議も開かれるなど、日本を舞台としてアジアワイドでの「SDGs を教室へ: 大学と企業を結ぶ」ことを考えるにはうってつけのタイミングです。

せっかくのこの機会、本セミナーでは、以下の 3 点について考えていきます。

- 1) 日本において、大学(若者)と企業をどう結びつけ、「SDGs を教室に」の動きを加速させられるのか。
- 2) 東アジアのユースが一同に会する機会、日本からの貢献・提言はなにか。
- 3) 日本での大学(若者)と企業を SDGs で結ぶ試みを、さらにダイナミックなものとするために、若者の人口もパワーも増大中のアジアとどうつながるのか。

この種のセミナーでは、大学関係者にスピーカーが偏りがち。しかし、フレッシュなアジアの話題を求めて、今回のセミナーでは、先に「アセアンミレニアルズ世代」の調査をなさった、博報堂生活総合研究所アセアン 主任研究員の宮部裕介氏をお招きし、アジアワイドでユースと企業を結ぶ視点から考えを広めていきます。学術界からはアジアにおける PRME の活動状況の話題も。パネル討論「お茶の間にSDGs、教室にSDGs」では、JICA、企業、市民社会、大学研究室、学生、等様々な団体様から、「私たちのアイデア・試み」をご報告いただきます。そして、登壇者・参加者の皆様と一緒に、可能性を語り合います。

主催: 日本グローバルコンパクト・アカデミックネットワーク  
オムロン基金プロジェクト、同志社大学ウェルビーイング研究センター、  
良心の実証的・実践的研究プロジェクト

共催: グローバルコンパクト・ネットワークジャパン



## スケジュール:

13:00-	開会挨拶
13:05	野村 彰男(GCNJ 理事)
13:05-	趣旨説明
13:10	飯塚 まり(同志社大学大学院ビジネス研究科 教授、J-GCAN 会長)
<b>ダイナミックアジアの若者・教室 ― 現状を聞く</b>	
13:10-	講演「Business Schools as a Force for Good: PRME and its Role in SDGs」
13:50	1) Dr. Hui Pun-zee Pamsy, Professor, Department of Management & Marketing, The Hong Kong Polytechnic University (香港理工大學)(逐次通訳) 応答「SDGsとPRME—日本からの視点」 2) 三浦 聡(名古屋大学 大学院法学研究科 総合法政専攻 教授)
13:50-	講演「ASEAN ミレニアルズ世代」
14:30	宮部 裕介(博報堂生活総合研究所アセアン 主任研究員)
14:30-	休憩
<b>パネル討論「教室にSDGs、お茶の間にSDGs、私たちの試み・アイデア！」</b>	
14:40-	※順番は変わる可能性あり
17:55	(第一部) ミニ基調報告「私たちの試み！」(14:40~16:20) モデレーター: 川廷 昌弘(博報堂DYホールディングス CSRグループ推進担当部長) ● 「学生に伝える。私たちの年金もSDGsが絡む！」 河川 真理子(大和総研 調査本部 主席研究員・J-GCAN 副会長) ● 「SDGsで日本を語る～世界の学生にどう伝えるのか」 飯塚 まり(同志社大学・J-GCAN) ● 「キャンパス SDGs 実施報告」 慶応義塾大学 蟹江研究室学生 ● 「学生の見た目・中・韓RTとグローバルコンパクト」 黒川・時田・加藤 (2016 年度 日中韓 RT 参加学生)
14:40-	***
16:20	● 「持続可能なビジネスを求めて(パタゴニアを経てギャップで挑戦の日々)」 大原 徹也(ギャップ米国本社 副社長) ● 「SDGsビジネスガイド」 阿部 和彦(PwC サステナビリティ合同会社 執行役員) ● 「SDGs はどこから始めればいいのか 化学会社の場合」 福田 加奈子(住友化学 CSR 推進部) ● 「世界と日本をつなぐ SDGs。JICA の取り組み」 岡崎 有香(JICA 企画部SDGs推進班) ● 「SDGsを映像で伝えよう」 宮城 崇志(SDGs.TV) ● 「SDGs コミュニケーション戦略」 渡辺 李依(JANIC)
16:20-	- 休憩 -
16:30-	(第二部)「私たちのアイデア！可能性について語ろう」(16:30~17:55)
17:55	モデレーター: 飯塚 まり(同志社大学大学院ビジネス研究科 教授) ● 「科学技術イノベーションとSDGs」 中川 尚志(科学技術振興機構 研究開発戦略センター フェロー) ● 「2030SDGsで変える～朝日新聞社の取り組みから考える」 石田 一郎(朝日新聞 ブランド推進部長) ● 「お茶の間にSDGs 行動変容を考える」 川廷 昌弘(博報堂・GCNJ SDGs タスクフォース)
～アイデア・可能性についてのディスカッション～ 登壇者・参加者全員	
17:55-	閉会挨拶
18:00	上野 明子(GCNJ 事務局次長)